

癌化学療法輸液約束処方 多発性骨髄腫:MM 10

癌種 再発・難治性多発性骨髄腫
 レジメン名 MM 10 EPd

薬品名(商品名)	一般名	略号	標準投与量	投与経路	投与日	1コース期間
ポマリスト	ポマリドミド		4mg/day	内服	DAY1~21(1週間休薬)	28日間
デカドロン	デキサメサゾン	DTX	28mg/day 75歳以上8mg/day	内服	DAY 1 .8. 15 .22(投与開始3時間前)	
エムプリシティ	エロツズマブ		10mg/kg 3コース目以降:20mg/kg	div	1、2コース目:DAY 1,8,15,22 3コース目以降:DAY 1	

☆デカドロン28mg: 投与3時間前までに内服

- ① NS 100ml + デキサート8mg + ポララミン1A + ファモチジン1V / 全開
- ② NS 100ml / 30分 (カロナール服用)
- ③ NS 250ml + エムプリシティ mg / 投与時間参照 ☆フィルターあり
- ④ NS 50ml / 全開

<投与速度> 10mg/kgの時		投与速度(mL/hr)		
		投与開始 0~30分	30~60分	60分以降
1コース目	初回	30	60	120
	2回目	180	240	
	3,4回目	300		
2コース目以降		300		

<投与速度> 20mg/kgの時		投与速度(mL/hr)		
		投与開始 0~30分	30~60分	60分以降
1回目		180	240	
2回目以降		300		

- <備考>
- ① 本レジメンは、少なくとも1つの標準治療が無効または再発した患者が対象。
 - ② infusion reaction 発現時は、投与速度を30ml/分とする。認容性確認後、30分毎に30ml/分ずつ上げる。
Grade3以上のinfusion reaction 発現時は投与中止。
 - ③ 投与時は0.22ミクロン以下のインラインフィルターを用いる。
 - ④ その他の有害事象: 感染症、リンパ球減少、間質性肺炎など
 - ⑤ 体重により輸液量変更: 50kg未満: 150mL、50~90kg: 250mL、90kg以上: 350mL

R4.11.7作成